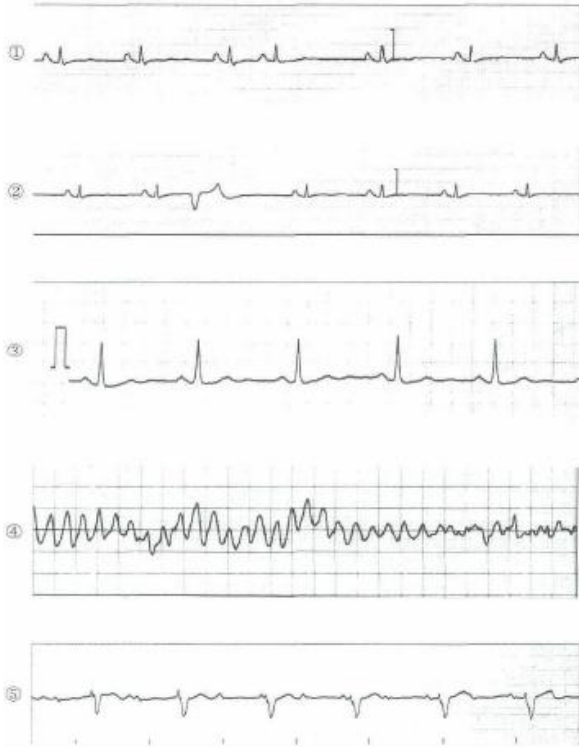


内科学：心疾患

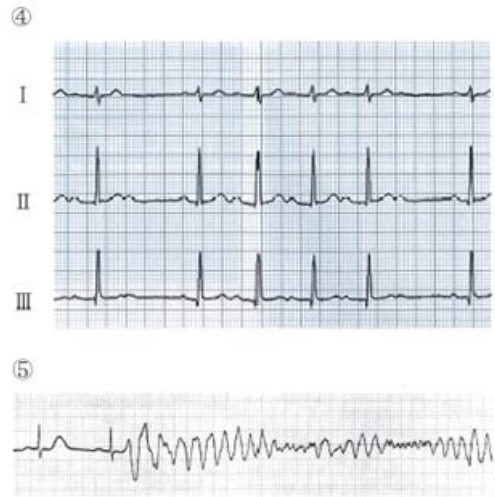
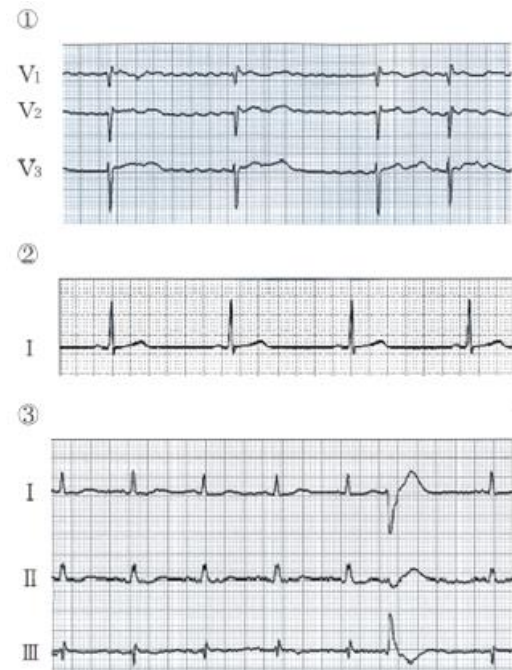
43-069 心電図を示す。心電図について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ①心室性期外収縮
2. ②洞不全症候群
3. ③正常洞調律
4. ④心房性期外収縮
5. ⑤完全房室ブロック



44-070 心電図を示す。正しいのはどれか。

1. ①—正常洞調律
2. ②—洞性徐脈
3. ③—発作性上室性頻拍
4. ④—心室性期外収縮
5. ⑤—心房細動



45-P-093 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 不整脈を伴うことが多い。
3. 心電図ではST上昇がみられる。
4. 血中の白血球数の増加がみられる。
5. ニトログリセリンの舌下投与が治療に有効である。

46-A-094 心不全でみられにくい所見はどれか。

1. 胸水の出現
2. 左室前壁の不動化
3. 心胸郭比 (CTR) 70%
4. 左室駆出率 (LVEF) 60%
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) の増加

46-P-093 同一患者の異なる時刻における心電図モニターを示す。認められるのはどれか。

1. 洞頻脈
2. 心房粗動
3. 心室性頻拍
4. 洞房ブロック
5. 完全左脚ブロック



47-A-092 左心不全の症状はどれか。

1. 高血圧
2. 肝脾腫
3. 起坐呼吸
4. 下腿浮腫
5. 頸静脈怒張

49-A-075 心筋梗塞の合併症として誤っているのはどれか。

1. 心室頻拍
2. 下肢静脈瘤
3. 肩手症候群
4. 僧帽弁逆流
5. 心室中隔穿孔

49-A-092 僧帽弁狭窄症による心不全で初期からみられるのはどれか。

1. 頸静脈怒張
2. 呼吸困難
3. 肝脾腫
4. 高血圧
5. 浮腫

49-P-085 心不全で正しいのはどれか。

1. 左心不全では肝腫大をきたす。
2. 左心不全では頸静脈怒張がみられる。
3. 右心不全では肺動脈圧が上昇する。
4. 右心不全では下腿浮腫がみられる。
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチドが低下する。

50-A-091 急性心筋梗塞の発症後の血液検査所見でないのはどれか。

1. 白血球増加
2. トロポニン上昇
3. クレアチニン上昇
4. 乳酸脱水素酵素 (LD) 上昇
5. クレアチンキナーゼ (CK) 上昇

50-P-095 右心不全の直接的原因として正しいのはどれか。

1. 高血圧
2. 肥大型心筋症
3. 僧房弁閉鎖不全症
4. 原発性肺高血圧症
5. 大動脈弁閉鎖不全症

51-A-077 心尖部の聴診で心室収縮期に持続する逆流性雑音を聴取するのはどれか。

1. 大動脈弁狭窄症
2. 心室中隔欠損症
3. 心房中隔欠損症
4. 肺動脈弁狭窄症
5. 僧帽弁狭窄症

51-A-088 心不全に特徴的な呼吸はどれか。

1. 下顎呼吸
2. 陥没呼吸
3. 奇異呼吸
4. 起座呼吸
5. 鼻翼呼吸

51-P-076 虚血性心疾患の病態と最も関連があるのはどれか。

1. 心筋炎
2. 心臓弁膜症
3. 肺高血圧症
4. 冠動脈硬化
5. 深部静脈血栓症

51-P-091 急性心筋梗塞で左冠動脈閉塞に比べて右冠動脈閉塞に特徴的なのはどれか。

1. 房室伝導ブロック
2. 心原性ショック
3. 心室中隔穿孔
4. 心室性頻拍
5. 肺うっ血

52-A-093 急性心筋梗塞後の運動療法の効果として正しいのはどれか。

1. 梗塞範囲の減少
2. 心室破裂の減少
3. 心嚢液貯留の減少
4. 左室駆出率の増加
5. 急性期心臓死の減少

52-P-065 右心不全の症候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肺水腫
2. 肝脾腫
3. 起坐呼吸
4. 下腿浮腫
5. チアノーゼ

内科学：循環器疾患

44-053 疾患と塞栓源との組合せで正しいのはどれか。

1. エコノミー症候群——心内血栓
2. 脳塞栓症——内頸動脈血栓
3. 潜函病——脂肪塞栓
4. 肺塞栓——空気塞栓
5. 腎梗塞——静脈血栓

44-073 下肢の深部静脈血栓症で誤っているのはどれか。

1. 安静臥床の期間と密接な関係がある。
2. 足指が暗赤色に腫脹する。
3. 血液凝固能は亢進している。
4. 肺塞栓症を生じる。
5. 誘引として避妊用ピルがある。

45-A-76 閉塞性動脈硬化症で正しいのはどれか
2つ選べ。

1. 男性よりも女性に多い。
2. 20～30歳代に多い。
3. 低血圧の合併が多い。
4. 間欠性跛行がみられる。
5. 主に四肢の近位側の動脈が侵される。

46-A-075 アテローム（粥状）硬化と関係するのはどれか。

1. Buerger病
2. 肥大型心筋症
3. 悪性腎硬化症
4. 僧帽弁狭窄症
5. 腹部大動脈瘤

46-A-078 血圧降下薬としての作用機序で適切なものはどれか。

1. 利尿
2. 心拍数増加
3. 心拍出量増大
4. 血管平滑筋収縮
5. ナトリウム貯留

47-A-088 深部静脈血栓症の予防法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 弾性ストッキングの着用
2. 足関節の自動運動
3. 水分摂取の制限
4. ギプス固定
5. 冷却

48-A-092 運動中に突然死するリスクが高い病態はどれか。

1. 肺動脈弁閉鎖不全症
2. 心房中隔欠損症
3. 大動脈弁狭窄症
4. 慢性心膜炎
5. 肺線維症

48-P-075 深部静脈血栓症を起こしやすいのはどれか。

1. 人工膝関節置換術後
2. 橈骨遠位端骨折
3. 心房細動
4. 血友病
5. 高血圧

48-P-091 脈管疾患と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

1. Buerger病——喫煙
2. 下腿静脈瘤——妊娠
3. 解離性大動脈瘤——アテローム硬化
4. 深部静脈血栓症——長期臥床
5. 結節性多発動脈炎——溶連菌感染症

49-P-075 アテローム(粥状)硬化が関与する病態はどれか。

1. 慢性収縮性心膜炎
2. 慢性閉塞性肺疾患
3. 内頸動脈狭窄症
4. 椎骨動脈解離
5. 肝硬変

52-P-094 血友病について正しいのはどれか。

1. 脾腫がみられる。
2. 血小板数が減少する。
3. 点状紫斑がみられる。
4. 膝に関節症をきたす。
5. 自己免疫性疾患である。

53-A-085 Fallot 四徴症で起こる血管異常はどれか。

1. 大動脈騎乗
2. 大動脈狭窄
3. 冠動脈狭窄
4. 肺静脈閉塞
5. 肺動脈弁逆流

53-P-077 ショックの発症初期に徐脈がみられるのはどれか。

1. アナフィラキシー反応
2. 血管迷走神経反射
3. 重傷熱傷
4. 大量出血
5. 敗血症

53-P-092 末梢血に大型の赤血球が出現するのはどれか。

1. 再生不良性貧血
2. 消化管出血
3. 鉄欠乏性貧血
4. 溶血性貧血
5. 葉酸欠乏性貧血

54-A-076 神経原性ショックの特徴はどれか。

1. 交感神経の緊張
2. 徐脈
3. 心拍出量の増加
4. 中心静脈圧の上昇
5. 皮膚温の低下

54-P-094 赤血球の産生が低下しないのはどれか。

1. 腎性貧血
2. 溶血性貧血
3. 鉄欠乏性貧血
4. 巨赤芽球性貧血
5. 骨髄異形成症候群

内科学：呼吸器疾患

44-072 閉塞性換気障害を呈するのはどれか。
2つ選べ。

1. 肺気腫
2. 肺線維症
3. 慢性気管支炎
4. うっ血性心不全
5. 筋ジストロフィー

45-A-93 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 間質性肺炎は湿性咳嗽が多い。
2. 気管支拡張症は血痰が出ることは少ない。
3. 肺気腫は初期からチアノーゼが出やすい。
4. 過換気症候群はバチ指を呈しやすい。
5. 睡眠時無呼吸症候群は急に眠気に襲われることが多い。

45-P-077 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。

- 2つ選べ。
1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 肺気腫では肺胞の破壊を特徴とする。
4. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。
5. 酸素取り込みよりも二酸化炭素排出が阻害されやすい。

46-P-092 胸部で聴取される捻髪音について正しいのはどれか。

1. 吸気終末に聴取できる。
2. 肺尖部で聴取しやすい。
3. 太い気管支由来の音である。
4. 閉塞性肺疾患で聴取しやすい。
5. 喀痰が多い場合に聴取しやすい。

47-A-094 肺気腫でみられるのはどれか。

1. 横隔膜高位
2. 1秒率の増加
3. 機能的残気量の増加
4. 解剖学的死腔の減少
5. 心胸郭比(CTR)の増加

47-P-094 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 肺線維症は閉塞性肺疾患である。
2. 気管支拡張症では乾性咳嗽がみられる。
3. 気管支喘息の発作時は1秒率が低下する。
4. 過換気症候群では呼吸性アシドーシスになる。
5. CO₂ナルコーシスは低CO₂血症によって生じる。

48-A-091 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。

- 2つ選べ。
1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 静肺コンプライアンスが低下する。
4. 肺気腫は肺胞壁の破壊を特徴とする。
5. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。

48-P-094 慢性閉塞性肺疾患による呼吸性アシドーシスで腎性の代償が起こって、状態が安定している。基準値と比べた場合の動脈血液所見として正しいのはどれか。

1. pH上昇
2. PaCO₂下降
3. PaO₂上昇
4. HCO₃⁻上昇
5. SaO₂上昇

49-P-091 間質性肺炎の特徴はどれか。

1. 単純エックス線写真ですりガラス陰影
2. 肺コンプライアンスの上昇
3. 水泡音の聴診
4. 横隔膜低位
5. 湿性の咳嗽

50-P-085 結核について正しいのはどれか。

1. 病変は肺に局限する。
2. 菌は胃酸の中では死滅する。
3. 初期から閉塞性換気障害を呈する。
4. 我が国では新規発症は年間100例未満である。
5. 診断した医師は保険所に届け出なければならない。

51-P-090 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪時の動脈血ガス分析の所見はどれか。

1. 酸素分圧低下、二酸化炭素分圧低下
2. 酸素分圧低下、二酸化炭素分圧正常
3. 酸素分圧低下、二酸化炭素分圧上昇
4. 酸素分圧正常、二酸化炭素分圧低下
5. 酸素分圧正常、二酸化炭素分圧上昇

51-P-095 胸部CTを示す。矢印の所見はどれか。

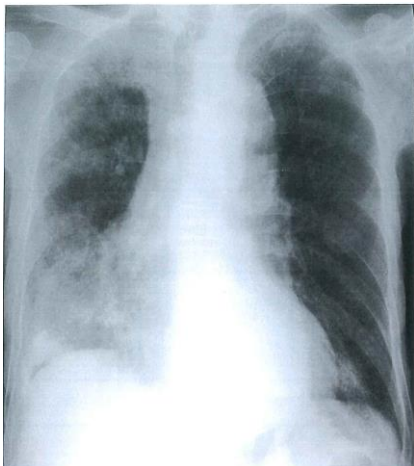
1. 肺炎
2. 胸水
3. 肺癌
4. 肺塞栓
5. 心嚢液貯留

52-A-092 高齢者の肺炎の特徴として正しいのはどれか。

1. 高熱がみられる。
2. 誤嚥性肺炎が多い。
3. 肺尖部の病巣が多い。
4. 咳反射の亢進がみられる。
5. 死因となる例は減少している。

53-P-076 訓練開始時に熱感があり、体温は38.5℃であった。胸部を聴診したところ右下肺野に水泡音が聞かれた。この患者のエックス線写真を示す。最も考えられるのはどれか。

1. 喘息
2. 大葉性肺炎
3. 突発性肺線維症
4. 慢性閉塞性肺疾患
5. びまん性汎細気管支炎



右 左

53-P-095 慢性閉塞性肺疾患の患者の胸部エックス線写真で特徴的なものはどれか。

1. 横隔膜挙上
2. 心陰影拡大
3. 肋間腔の狭小化
4. 肺野の透過性亢進
5. シルエットサイン

54-A-092 慢性閉塞性肺疾患患者に推奨されないのはどれか。

1. 低脂肪食
2. 在宅酸素療法
3. 上肢の筋力トレーニング
4. 下肢の筋力トレーニング
5. インフルエンザワクチン接種

内科学：消化器疾患

45-A-094 出血の症状で正しいのはどれか。

1. 少量の咯血は致死にならない。
2. 上部消化管出血はコーヒー残渣様の吐物となる。
3. 下部消化管出血は黒色軟便となる。
4. 下部消化管出血は大量出血となる。
5. 内痔核からの出血は光沢のある暗赤色の便となる。

46-A-092 ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が原因となるのはどれか。

1. 胆嚢炎
2. 急性膵炎
3. 萎縮性胃炎
4. 逆流性食道炎
5. 潰瘍性大腸炎

46-P-094 虚血性大腸炎について正しいのはどれか。

1. 初発症状は腹痛である。
2. 大半が手術適応となる。
3. 好発部位は上行結腸である。
4. 発症のピークは50歳代である。
5. 頻回の下痢が発症の誘因となる。

48-A-093 絞扼性イレウスの特徴はどれか。

1. 保存療法で治癒することが多い。
2. 腸管の血流障害を伴う。
3. 腹痛は軽度である。
4. 下血がみられる。
5. 結腸に好発する。

48-P-092 急性膵炎の特徴はどれか。

1. 細菌感染が原因となる。
2. 尿アミラーゼが上昇する。
3. 膵癌を合併することが多い。
4. 糖尿病を合併することが多い。
5. 触診によって腫大した膵臓を触れる。

49-P-092 腸重積の特徴はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 左側結腸に多い。
3. 腸雑音は亢進する。
4. 腸管の血流は保たれる。
5. 鼠径ヘルニアの嵌頓で起こる。

50-P-094 急性膵炎について正しいのはどれか。

1. 膵石がみられる。
2. 60歳以上の女性に多い。
3. アルコール性が最も多い。
4. 初期から糖尿病を合併する。
5. 重症での死亡率は1%未満である。

51-A-086 食道静脈瘤について正しいのはどれか。

1. 食道の中下部に好発する。
2. 吐血はコーヒー残渣様である。
3. 門脈圧の低下が原因で形成される。
4. 治療は食道離断術が第一選択である。
5. 初期のものは内視鏡で観察すると赤色に見える。

54-P-093 急性膵炎で正しいのはどれか。

1. 胆石が最も多い原因である。
2. 重症例の死亡率は1%前後である。
3. 急性期は血中アミラーゼが低下する。
4. 膵内での消化酵素の活性化がみられる。
5. 体幹の伸展で痛みが軽減することが多い。

内科学：肝疾患

49-P-076 肝臓の機能不全によって起こる病態でないのはどれか。

1. 黄疸
2. 腹水
3. 出血傾向
4. 意識障害
5. 高コレステロール血症

50-A-095 肝硬変の患者が多量の吐血をした場合の原因として可能性が高いのはどれか。

1. 出血性胃炎
2. 吻合部潰瘍
3. 食道静脈瘤
4. アカラシア
5. 逆流性食道炎

51-A-087 アルコール性肝障害について正しいのはどれか。

1. アルコール性肝炎は自覚症状に乏しい。
2. アルコール性脂肪肝では腹痛がみられる。
3. アルコール積算飲酒量と肝障害の発症率は無関係である。
4. アルコール性肝硬変では断酒を続けても組織病変は正常化しない。
5. アルコール性肝硬変では肝細胞癌の発症率が健常者の3倍以上である。

53-P-094 肝炎について正しいのはどれか。

1. A型肝炎の慢性化率は約20%である。
2. B型肝炎ワクチンは感染の予防に有効である。
3. C型肝炎のキャリアはHCV抗原が陽性である。
4. 慢性肝炎の原因ウイルスで最も多いのはB型である。
5. 慢性肝炎においては急性増悪期を過ぎても運動制限を行う。

内科学：糖尿病

45-P-076 糖尿病で正しいのはどれか。

1. 膵臓からのインスリンの分泌亢進によって起こる。
2. 糖尿病性腎症では血尿が特徴的である。
3. 診断のために経口ブドウ糖負荷試験を行う。
4. 血糖値が正常ならば尿糖陽性にならない。
5. HbA1cはインスリン抵抗性の指標になる。

47-A-093 糖尿病で最も眼病変が起こりやすい部位はどれか。

1. 角膜
2. 網膜
3. 視神経
4. 水晶体
5. ぶどう膜

47-P-093 低血糖症状でないのはどれか。

1. 頻脈
2. 生あくび
3. 意識消失
4. 激しい口渇
5. 計算能力の低下

49-P-094 糖尿病に合併しやすい疾患として誤っているのはどれか。

1. 白内障
2. 尿路結石
3. 脳血管障害
4. 虚血性心疾患
5. 閉塞性動脈硬化症

52-P-093 2型糖尿病の運動療法について誤っているのはどれか。

1. 有酸素運動が用いられる。
2. インスリン感受性を上昇させる。
3. 食事療法との併用が基本となる。
4. 尿中ケトン体が陽性の場合においても推奨される。
5. 実施にあたってはインスリンが十分に補充されている必要がある。

53-A-092 腎不全における透析療法について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 透析対象者数は年々増加傾向にある。
2. 血液透析よりも腹膜透析の割合が多い。
3. 昼間透析よりも夜間透析の割合が多い。
4. 透析導入の原因疾患は糖尿病性腎症が最も多い。
5. 透析対象者の死亡原因として肝不全が最も多い。

53-A-093 糖尿病の運動療法で正しいのはどれか。

1. 食後すぐに運動を開始する。
2. 冷汗は高血糖発作の予兆である。
3. インスリン投与中は運動療法を中止する。
4. 空腹時血糖値が高いほど運動量を増やす。
5. 増殖性網膜症がある場合には運動強度を軽くする。

内科学：代謝疾患

44-052 代謝性疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 糖原病——グリコーゲン
2. 痛風——尿酸
3. アミロイドーシス——グルコース
4. Wilson 病——銅
5. ポルフィリン症——ヘム

44-074 正しい組合せはどれか。 2つ選べ。

1. 性腺刺激ホルモン——Cushing 病
2. 甲状腺ホルモン——Basedow 病
3. プロラクチン——Addison 病
4. オキシトシン——尿崩症
5. 成長ホルモン——末端肥大症

45-P-094 内分泌機能と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 甲状腺機能低下——尿崩症
2. 下垂体前葉機能亢進——クレチン病
3. 下垂体後葉機能低下——糖尿病
4. 副腎皮質機能亢進——Cushing 症候群
5. 副腎髄質機能亢進——Basedow 病

46-A-093 内分泌異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
2. 副甲状腺機能低下——テタニー
3. 甲状腺機能低下——Basedow 病
4. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
5. 副腎皮質機能低下——Cushing 症候群

46-A-096 ビタミン B1 (チアミン) 欠乏によるのはどれか。 2つ選べ。

1. 脚 気
2. 痛 風
3. ペラグラ脳症
4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイス) 症候群
5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニッケ・コルサコフ) 症候群

48-A-078 くる病の症状でないのはどれか。

1. 低身長
2. 漏斗胸
3. 骨痛
4. 円背
5. O脚

51-P-086 痛風について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 80代に多い。
3. 多臓器に症状を起こす。
4. るいそうに合併しやすい。
5. ピロリン酸カルシウム結晶が関節に沈着する。

52-A-094 内分泌異常と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
2. 甲状腺機能低下——Basedow 病
3. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
4. 副甲状腺機能低下——テタニー
5. 副腎皮質機能低下——Cushing 症候群

52-P-096 精神遅滞を生じる疾患のうち、先天性代謝異常が原因であるのはどれか。

1. Down 症候群
2. 結節性硬化症
3. 神経線維腫症
4. Turner 症候群
5. フェニルケトン尿症

内科学：老年期

44-050 加齢に伴う骨格筋の萎縮で正しいのはどれか。

1. 細胞のアポトーシスである。
2. 退行性変化の1つである。
3. 筋原性変化が特徴である。
4. 筋線維がマクロファージに貪食される。
5. 筋線維が結合組織に置換される。

45-A-095 高齢者に発生しやすいのはどれか。

1. I型糖尿病
2. 関節リウマチ
3. 多発性骨髄腫
4. 多発性硬化症
5. 線条体黒質変性症

45-P-095 加齢によって増加するのはどれか。

1. 夜間尿量
2. 腰椎骨密度
3. 左室駆出率
4. 動脈血酸素分圧
5. 最大酸素摂取量

46-P-068 高齢者で減少するのはどれか。

- 2つ選べ。
1. 心拍出量
 2. 腎血流量
 3. 体脂肪率
 4. 末梢血管抵抗
 5. 機能的残気量

46-P-082 高齢者の長期の安静臥床の影響として正しいのはどれか。 2つ選べ。

1. 記憶力の低下
2. 1回換気量の増加
3. 循環血液量の減少
4. 安静時心拍数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

47-P-095 高齢者にみられる加齢に伴う変化で誤っているのはどれか。

1. 関節軟骨の変性
2. 高音域の聴力低下
3. 収縮期血圧の上昇
4. 唾液分泌量の増加
5. 食塊の消化管通過時間の延長

48-A-095 老年症候群について誤っているのはどれか。

1. 虚弱な老人に特有の症候である。
2. ADL の障害要因となる。
3. 活動性が低下しやすい。
4. 単一の原因で起こる。
5. 悪循環に陥る。

48-P-068 生理的老化について誤っているのはどれか。

1. 残気量が増加する。
2. 骨塩量が減少する。
3. 水晶体の蛋白変性が起こる。
4. 筋持久力より瞬発力が先に低下する。
5. 低い声より高い声の方が聞き取りやすい。

48-P-095 高齢者にみられる特徴はどれか。

1. 男性における前立腺の萎縮
2. 卵巣刺激ホルモンの低下
3. 歩行開始時の心拍数減少
4. 前角細胞数の減少
5. 立位時の骨盤前傾

50-P-089 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 速筋線維
2. ビタミン D
3. 成長ホルモン
4. α 運動神経細胞
5. 炎症性サイトカイン

51-A-091 加齢による身体構成成分の変化において若年時と比べて体重比が増加するのはどれか。

1. 骨塩
2. 脂肪
3. 細胞外液
4. 細胞内液
5. 細胞性固形物

51-P-068 高齢者にみられる変化で正しいのはどれか。

1. 骨吸収は停止する。
2. 残気量は減少する。
3. 収縮期血圧は下降する。
4. 水晶体は蛋白変性する。
5. 皮膚の痛み閾値は低下する。

51-P-094 高齢者の筋で誤っているのはどれか。

1. 筋断面積が減少する。
2. 運動単位数が増加する。
3. 筋力増強効果はみられる。
4. タイプ II 線維の萎縮が強い。
5. 持久力は筋力に比較して維持される。

52-A-068 老化に伴う生理機能の変化で正しいのはどれか。

1. 血管抵抗は低下する。
2. 残気量は減少する。
3. 心拍出量は増加する。
4. 肺活量は増加する。
5. 予備呼吸量は減少する。

52-P-092 高齢者にみられる病態のうち、低栄養の関与が低いのはどれか。

1. 貧血
2. 褥瘡
3. 大腿骨骨折
4. サルコペニア
5. 虚血性心疾患

内科学：廃用症候群

44-051 廃用性筋萎縮で正しいのはどれか。

1. 筋原線維は保たれる。
2. 筋内神経線維は保たれる。
3. 筋張力は保たれる。
4. 筋線維の蛋白質合成は保たれる。
5. 筋萎縮の進行速度は神経切断後と同程度である。

47-A-082 長期臥床による不動化の影響として正しいのはどれか。

1. 筋節長の延長
2. 疼痛閾値の低下
3. 関節不安定性の出現
4. 脊髄前角細胞数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

49-A-083 臥床による筋への影響として正しいのはどれか。

1. 最大筋腹の太さは保たれる。
2. 手内筋は数日で著明な筋力低下が生じる。
3. 上肢筋に比べ下肢筋で筋力低下が大きい。
4. 下肢筋では 1 週間に 50% の筋力低下が生じる。
5. 筋細胞膜のアセチルコリン感受性の増強が生じる。

51-A-082 長期の安静臥床によって上昇するのはどれか。

1. 免疫能
2. 耐糖能
3. 静脈還流量
4. 尿中カルシウム
5. クレアチニン・クリアランス

53-P-084 廃用症候群によって低下しないのはどれか。

1. 筋力
2. 肺活量
3. 心拍数
4. 身体活動性
5. 胃腸管運動

54-P-084 高齢者の長期の安静臥床の影響で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 記憶力の低下
2. 1回換気量の増加
3. 循環血液量の減少
4. 予備呼気量の増加
5. 安静時心拍数の減少

内科学：薬

47-A-075 薬物療法について正しいのはどれか。

1. 薬物は半減期が長いほど体内から速く排泄される。
2. 経口投与されたバクロフェンは髄液に移行しない。
3. 脂溶性の薬物は肝臓で代謝されると排泄されやすくなる。
4. 血液透析を受けている患者では投薬量を通常よりも多くする。
5. 抗てんかん薬の血中濃度が治療域の下限以上であれば発作は起こらない。

48-P-085 病態とその治療薬の組合せで正しいのはどれか。

1. ジスキネジア——L-dopa
2. 重症筋無力症——コリンエステラーゼ阻害薬
3. 前立腺肥大症——抗コリン薬
4. 間質性肺炎——メトトレキサート
5. 消化管出血——アスピリン

49-A-082 病態と薬物療法の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩手症候群——免疫グロブリン製剤
2. 視床痛——A型ボツリヌス毒素製剤
3. 症候性てんかん——抗血小板薬
4. 深部静脈血栓症——抗凝固薬
5. 夜間せん妄——睡眠導入薬

51-A-095 病態とその治療薬の組合せで正しいのはどれか。

1. 関節リウマチ——メトトレキサート
2. ジスキネジア——L-dopa
3. 重症筋無力症——抗コリン薬
4. 前立腺肥大症——男性ホルモン
5. 消化管出血——アスピリン

51-P-078 抗凝固薬はどれか。

1. レボドパ
2. ビタミンK
3. アドレナリン
4. バクロフェン
5. ワルファリン

53-A-078 非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の副作用として正しいのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 低血糖
3. 多幸感
4. 骨粗鬆症
5. 中心性肥満

内科学：その他

47-A-095 運動負荷を漸増すべきでないのはどれか。

1. 発症後2日のラクナ梗塞患者
2. 抗凝固薬投与中の心房細動患者
3. 発症後1週以内の労作性狭心症患者
4. 在宅酸素療法導入後の慢性閉塞性肺疾患患者
5. 下大静脈フィルター留置後の深部静脈血栓症患者

49-A-086 男性に多い疾患はどれか。

1. 全身性エリテマトーデス
2. Sjögren症候群
3. 強直性脊椎炎
4. 線維筋痛症
5. 強皮症

51-A-085 赤血球沈降速度が低下するのはどれか。

1. 貧血
2. 肝硬変
3. 悪性腫瘍
4. 細菌感染
5. 播種性血管内凝固症候群(DIC)

51-P-085 胃全摘出術後に起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. 脂肪便
4. 出血傾向
5. 低蛋白血症

51-P-093 Down症候群で正しいのはどれか。

1. 転座型の場合は両親に転座があることは少ない。
2. 出現頻度は母親の出産年齢に影響されない。
3. 21番染色体の異常がみられる。
4. 両親に対する愛着は少ない。
5. 知的障害はみられない。

52-P-090 眼疾患とその病態の組合せで正しいのはどれか。

1. 白内障——硝子体の混濁
2. 麦粒腫——眼瞼の悪性腫瘍
3. Behcet 病——ぶどう膜の炎症
4. 流行性角結膜炎——色素上皮の剥離
5. 緑内障——眼圧の低下

53-A-088 免疫不全によって生じやすい疾患はどれか。

1. 肝性脳症
2. ペラグラ脳症
3. Wernicke 脳症
4. トキソプラズマ症
5. Creutzfeldt-Jakob 病

53-P-093 我が国におけるメタボリックシンドロームの診断基準に含まれないのはどれか。

1. 中性脂肪
2. 空腹時血糖
3. 収縮期血圧
4. ウエスト周囲径
5. LDL コレステロール

54-A-085 性染色体異常で発症するのはどれか。2つ選べ。

1. Down 症候群
2. Marfan 症候群
3. Turner 症候群
4. Williams 症候群
5. Klinefelter 症候群